

税理士会の要望実現のために活動しています

近畿税政連

第231号
5月10日
平成30年(2018年)

発行所 近畿税理士政治連盟 発行人 久保直己/編集人 小川由美子
〒540-0012 大阪市中央区谷町1丁目5番4号 電話(06)6944-9040 FAX(06)6944-9050 URL <http://kinzeisei.jp/> e-mail info@kinzeisei.jp



春爛漫の馬見丘陵公園（奈良県北葛城郡）

撮影：杉本 正臣（奈良支部）

■ 国会議員等による確申期税務相談会場の視察	3
■ 第6回川柳・書道コンテストのご案内	6

焦 点

税政連とはいったい何だろう。

税理士を開業したての頃は、支部役員の方から選挙の度に選挙事務所の電話当番表が送られてきて、それに従って当番日に選挙事務所に行ったものであった。また会費振込票をいただき支部役員の方から会費の納入がまだのようなので振り込んでおくようにと言われたものであった。

今の若い税理士はどうなんだろう。当時とさほど変わってはいないのではないかと思う。

税理士会は特別法人であるため、自らの政治活動に制約を受けている。税理士会は政治活動ができないため、税理士政治連盟は税理士会の要望を実現させるべく、その

会費納入お願いします

政治的活動を受け持っている。そのことを理解してもらいたい。

税理士による国会議員等の後援会は年々増えている。またそれにつれて税政連活動も活発になってきている。しかし、まだ多くの税理士には理解してもらっていないようである。

近畿税理士政治連盟は「近畿税理士会に入会している税理士会員は、その資格において会員となる」と規定しているにもかかわらず、会費の収納率は年々低下している。これはなぜか？これでは税政連の存続が危ぶまれる。

個人の主義、信念が違うことはあっても税政連の活動に差が出てくることはない。

会費未納の税理士に、これでよいのかも一度考えてほしい。10年後、20年後の税理士、税理士会のためにも。

税理士政治連盟の「命の水」

近畿税理士政治連盟副会長 辻井賢博

昨年、日本税理士政治連盟及び全国の各単位税理士政治連盟は創立50周年を迎え、一つの区切りをつけた。税理士政治連盟は、過去の税理士法改正運動のつまずきを契機に創設され、その後の数次の税理士法改正に注力し、税理士会と共に歩み、特別法人であるが故に活動制限のある税理士会とタッグを組み、税理士制度の安定と確立のため、力を注いできた。



辻井賢博

税理士法49条の11に基づき毎年提出される建議書は、税理士制度の存在意義を高めるものの一つであるが、それを法律の形で具現化することを可能にしてきたのは、税理士政治連盟の活動に負うところが大きい。我々税理士の総意を国会に届けることは、決して容易なことではないが、税理士政治連盟であればできることである。国会議員への陳情をすべく議員会館を訪ねても、日頃から良好な人間関係が築かれていなければ面談すら不可能であろう。しかし、ここへたどりつくまでには想像を超える時間と資金と労力が惜しみなく注がれているのである。

時間と労力は、会務に従事する税理士の献身的熱意でカバーできる。しかし、その活動資金を支えるのは、税理士政治連盟の財政であり、一人ひとりの税理士の税政連会費である。残念なことに、この十数年、税理士会員の税政連会費収納率は下落の一途である。このままでは「活動資金がないから動けない」という事態に陥るかもしれないのだ。税理士政治連盟が動けなくなれば、税理士会の声を国会に届けることはできなくなる。毎年の税制建議はむろん、次なる税理士法改正も…手も足も出ない「だるまさん」になるのである。税理士会の総意を国会に伝える役目を果たせなくなるのである。税理士政治連盟にとって、その活動資金は、まさに「命の水」というに等しい。

昨年9月、日本税理士会連合会会長より、同制度部長に対し次期税理士法改正に向けた検討をせよとの諮問があったことは記憶に新しい。諮問に対する答申期限は平成31年4月。いよいよ次なる税理士法改正の議論が始まる。国税庁は、昨年6月にICTやマイナンバー制度を活用した事務運営の最適化と課税及び徴税事務の効率化及び高度化を図ると共に、税務手続きを円滑かつスピーディなものとし、納税者の利便性を高める施策「税務行政の将来像～スマート化を目指して～」を打ち出している。税理士会も次世代を担う若者たちにとって魅力ある税理士制度を将来にわたり維持発展させる観点から、納税環境の変化を的確にとらえた上で、税理士業界の未来予想図を念頭に入れた「あるべき税理士制度の構築」に向けた取り組みを始めている。税理士制度の持続的発展のためには、税理士会と税理士政治連盟がしっかりタッグを組んで臨むことが重要だ。そして、税理士政治連盟が税理士会のためにより動くためには「命の水」ともいえるべき活動資金が必要なのである。税理士会員のご理解とご支援を心からお願いするところである。

目次

焦点	1
税理士政治連盟の「命の水」	2
国会議員等による確申期税務相談会場の視察	3
京都府知事選挙結果	6
第6回川柳・書道コンテストの案内	6
後援会ニュース	7
かんさいすずめ	11
銀河系	11

国会議員等による確申期税務相談会場の視察

近畿税理士会では、平成29年分の所得税確定申告期において、納税義務の適正な実現を図ることを目的とする税理士の立場および税理士業務の社会的公共性・独占性に鑑み、各支部において税務相談会場、税理士会館ではコールセンターを運営し、税務支援等の施策が実施された。

当連盟では、税理士会が行っている社会貢献事業である税務支援について、関係国会議員等に理解を得るため、税務相談会場の実情視察を要請したところ、32人の国会議員等が41ヶ所の相談会場を視察した。

視察では、税理士による国会議員等後援会役員、支部及び支部連役員、本部役員が議員等を案内するとともに、近税会支部役員の協力を得て、税務支援の抱える問題点や、無料相談の意

義について説明を行った。また、相談に訪れた納税者と直接対話する機会もあり、中小事業者をはじめとする納税者の実情について理解を深めた。

視察を行った国会議員等から、税理士が地域の中小事業者をはじめとする納税者に対し長年にわたり税務支援を行っていることに謝意が表された。それにより、申告納税制度の維持発展のために税理士が果たしている役割は多大であるとの認識をさらに強めることができた。

視察後はそれぞれ国会議員等との懇談会を実施し、平成29年度税制改正にご尽力いただいたことにお礼申し上げ、さらなる要望の実現を求め陳情を行った。

平成29年分「所得税確定申告期における税務相談会場」の視察状況

院	視察議員氏名	選挙区	政党	視察月日	視察会場
衆	大西宏幸	大阪1区	自民	2月19日(月)	大阪合同庁舎第2号館別館
衆	左藤章(代理)	大阪2区	自民	2月21日(水)	阿倍野産業会館、東住吉納税協会
衆	中山泰秀	大阪4区	自民	2月19日(月)	梅田スカイビル
衆	國重徹	大阪5区	公明	2月5日(月)	東淀川区民ホール
衆	大塚高司	大阪8区	自民	2月7日(水)	豊中市立ローズ文化ホール
衆	原田憲治	大阪9区	自民	2月5日(月)	箕面文化・交流センター
				2月9日(金)	茨木市役所
衆	平野博文	大阪11区	民進	2月5日(月)	交野市役所別館
衆	北川知克	大阪12区	自民	2月9日(金)	寝屋川市立市民体育館
衆	宗清皇一	大阪13区	自民	2月5日(月)	JAグリーン大阪
衆	竹本直一	大阪15区	自民	3月5日(月)	すばるホール
衆	北側一雄	大阪16区	公明	2月5日(月)	堺市産業振興センター
衆	伊吹文明	京都1区	自民	2月19日(月)	西陣織会館、中京納税協会、下京納税協会
衆	前原誠司	京都2区	希望	2月9日(金)	京都銀行下鴨支店、京都府東部文化会館
衆	安藤裕	京都6区	自民	2月8日(木)	宇治産業会館
衆	盛山正仁	兵庫1区	自民	3月5日(月)	灘納税協会
衆	関芳弘	兵庫3区	自民	2月26日(月)	アスタくにつか、須磨納税協会
衆	渡海紀三朗	兵庫10区	自民	2月26日(月)	ニッケパークタウン・加古川納税協会
衆	松本剛明	兵庫11区	自民	2月19日(月)	姫路労働会館
衆	高市早苗	奈良2区	自民	2月9日(金)	上牧町健康福祉センター
衆	岸本周平	和歌山1区	希望	2月23日(金)	和歌山地方合同庁舎5階
衆	谷川とむ	比例近畿	自民	2月14日(水)	イオンモールりんくう泉南
参	柳本卓治	大阪府	自民	2月26日(月)	南納税協会
参	杉久武	大阪府	公明	2月26日(月)	大阪合同庁舎第2号館別館
参	松川るい	大阪府	自民	2月22日(木)	大阪合同庁舎第2号館別館
参	西田昌司	京都府	自民	3月14日(水)	下京納税協会
参	二之湯智	京都府	自民	2月13日(火)	西京区役所、京都府中小企業会館
参	鴻池祥肇(代理)	兵庫県	自民	2月9日(金)	尼崎市武庫地区会館
参	伊藤孝江	兵庫県	公明	2月5日(月)	尼崎市中小企業センター
				2月16日(金)	うはらホール
参	こやり隆史	滋賀県	自民	2月26日(月)	湖南市共同福祉施設
非	吉田おさむ	非現職	希望	2月13日(火)	城東区民センター
				2月20日(火)	梅田スカイビル
非	松浪健太	非現職	維新	2月23日(金)	島本町ふれあいセンター
非	尾立源幸	非現職	無所属	3月1日(木)	梅田スカイビル

※政党名は、視察時の政党名を記載しております。

税務相談会場の視察の様子

1



大西宏幸 衆議院議員 (右から 2 人目)



中山泰秀 衆議院議員 (右から 3 人目)



國重徹 衆議院議員 (右から 3 人目)



大塚高司 衆議院議員 (一番左)



原田憲治 衆議院議員 (最前列左から 2 人目)



平野博文 衆議院議員 (右)



北川知克 衆議院議員 (左から 2 人目)



宗清皇一 衆議院議員 (右から 3 人目)



竹本直一 衆議院議員 (左から 3 人目)



北側一雄 衆議院議員 (左)



伊吹文明 衆議院議員 (右から 3 人目)



前原誠司 衆議院議員 (右から 4 人目)

税務相談会場の視察の様子

2



安藤裕 衆議院議員(左)



盛山正仁 衆議院議員(右から3人目)



関芳弘 衆議院議員(右から4人目)



渡海紀三朗 衆議院議員(左から2人目)



松本剛明 衆議院議員(右から2人目)



高市早苗 衆議院議員(左から2人目)



岸本周平 衆議院議員(右から2人目)



谷川とむ 衆議院議員(右から2人目)



柳本卓治 参議院議員(左から2人目)



杉久武 参議院議員(一番右)



松川るい 参議院議員(右から3人目)



西田昌司 参議院議員(左から4人目)

税務相談会場の視察の様子

3



二之湯智 参議院議員 (左から 2人目)



伊藤孝江 参議院議員 (右から 2人目)



こやり隆史 参議院議員 (右)



吉田おさむ 元参議院議員 (右から 3人目)



松浪健太 前衆議院議員 (右から 3人目)



尾立源幸 前参議院議員 (右から 2人目)

京都府知事選挙 推薦候補者が当選

京都府知事選挙が平成30年 3月22日告示、4月8日投開票により施行された。

近税政では、第3回推薦審査会を3月7日に開催し、京都府支部連より京都府知事選挙推薦候補者として報告のあった新人の西脇隆俊氏（自民党・公明党・民進党・希望の党・立憲民主党推薦）について「首長選挙における推薦基準」に基づき慎重に審議を行い、京都府知事選挙における同氏の推薦を決定した。

選挙にあたっては、選挙応援が法令違反とならないように十分留意して行われ、投開票の結果、当連盟推薦候補者の西脇隆俊氏が当選を果たした。

広報委員会からのお知らせ

第6回

『川柳』『書道』コンテスト

のご案内

応募期間：平成30年1月1日(月)～

平成30年6月8日(金)必着

詳細および応募用紙・応募票は、近畿税政連ホームページの**会員専用ページ**より。

近税政HP：<http://www.kinzeisei.jp/>

後援会ニュース

とかしきなおみ後援会

日時 平成30年1月19日
 場所 サニーストンホテル(吹田市)
 来賓 渡嘉敷奈緒美 環境副大臣
 後藤 圭二 吹田市長
 久保 直己 近税政会長
 田 達満 近税政幹事長
 高砂 昭宏 近税政大阪府第3支部連会長



司会の上西通氏副幹事長が開会を宣し、来賓紹介の後、平山直樹会長は、渡嘉敷環境副大臣にこれまでの感謝の辞を述べた。

後藤圭二市長より、予防医療に取り組む北大阪健康医療都市づくりについて説明があった。

前田明仁事務局長より事業報告書及び収支決算書の報告があり、可決承認された。

久保近税政会長が、事業承継税制の拡充など税制改正に関わる税理士制度改革推進議員連盟の役割などについて述べた。

高砂大阪府第3支部連会長が、税理士の将来について述べた。

渡嘉敷環境副大臣が感謝の辞と健都の将来性と必要性について述べ、またEnvironment Social Governance(ESG)投資に対する日本の取り組み及び海外の流れについて述べた。

小倉毅副会長のあいさつにより閉会し、引き続き懇親会が開催され、田近税政幹事長のあいさつ、そして今中英雄相談役の閉会の辞と、盛会のうちに終わった。(茨木支部 高岸直久)

渡海紀三朗後援会

日時 平成30年1月20日
 場所 加古川プラザホテル
 来賓 渡海紀三朗 衆議院議員
 久保 直己 近税政会長
 田 達満 近税政幹事長



税理士による渡海紀三朗後援会の定期総会・懇親会が開催された。定期総会は、司会の澤木俊昌後援会幹事長のあいさつで始まり、有村昌紀後援会会長より「後援会活動に感謝を申し上げ、さらに活発化していきたい」とあいさつがあった。続いて、活動報告、会計報告がなされた。

次に、久保近税政会長より「渡海紀三朗議員は、地域の代表であり今後も応援していきたい。また、後援会の会員数をさらに増やし活動を盛り上げてほしい」とあいさつがあった。

国政報告では、渡海紀三朗衆議院議員から「安心して暮らせる社会保障制度の構築、高等教育の機会均等、所得格差是正など、この国が、10年先、20年先も元気であるように、力強い日本経済のためにも頑張りたい」と活動の報告がなされた。

懇親会は、藤原千明後援会副会長より「渡海議員の熱のこもったお話に我々もしっかりと答えていき、応援をしたい」とあいさつがあり、終始和やかにおこなわれ、坂下雅一後援会副会長の閉会のあいさつで終了した。

(西宮支部 森本幸子)

原田憲治後援会

日時 平成30年1月23日
 場所 千里阪急ホテル(豊中市)
 来賓 原田 憲治 衆議院議員
 久保 直己 近税政会長
 田 達満 近税政幹事長
 高砂 昭宏 近税政大阪府第3支部連会長
 森田 茂稔 大塚高司後援会会長
 谷丸 八郎 松浪ケンタ後援会会長



定期大会では、司会の生田哲也副幹事長より来賓紹介があった。田中啓允後援会会長より、後援会設立後10周年となり、国会への31項目の要望事項の内、最重点事項5項目について説明があった。

議長に金山薫章副幹事長が選出され、議案審議に入り、川口純司幹事長より説明があり、原案どおり満場一致で可決承認された。

久保近税政会長の来賓あいさつ、安倍晋三総裁他の祝電披露の後、大西尚史副会長のあいさつで閉会した。

国政報告会では原田議員より、本日は大雪の影響にもかかわらず、霞が関から羽田までの首都高速だけが、通行できたので無事間にあった。総務部会では自治省系と郵政省系に分かれ、NHKの財政を審議、市町村合併の災害による延期問題、新発明の「痛くない注射針」の後継者不足による事業承継問題、ゴルフ場利用税は地方財政に貢献大であるなどが報告された。

最後に、田中会長から要望書を原田議員に手渡し陳情が行われた。(吹田支部 高木晴雄)

松本たけあき後援会

日時 平成30年2月3日
 場所 森富(姫路市)
 来賓 松本 剛明 衆議院議員
 久保 直己 近税政会長
 田 達満 近税政幹事長
 後藤加代子 兵庫県第4支部連会長



税理士による松本たけあき後援会の定期大会が開催された。西村靖彦会員が議長に選出され、議事に入り全ての議案が可決承認された。

○松本剛明衆議院議員のあいさつ

この度自民党の公認をいただき、選挙の得票率で党がランク付している現状があり、これからは自民党として仕事を全うしていきたい。国会では、まず少子化の対策が重要項目になり、消費税の軽減税率の問題も大変大きいです。

○久保直己近税政会長のあいさつ

後援会は、立ち上げ当初は大変盛り上がりあって活気があるが、やがて参加する人が減っていく中、逆に会員が増加していくような後援会組織になってほしい。

○田達満近税政幹事長

1月22日の通常国会の施政方針演説も大綱の働き方改革、人づくり革命、生産性革命の考え方に沿った税制に関連するものであった。また、後援会の組織が高齢になり、若い会員の加入にも力を入れていただきたい。

○後藤加代子兵庫県第4支部連会長のあいさつ

いつもながら確定申告期の視察ありがとうございます。(姫路支部 上野政則)

高市早苗後援会 新春の集い

日時 平成30年2月3日
 場所 奈良ロイヤルホテル
 来賓 高市 早苗 衆議院議員
 森田 務 近税政副会長
 田 達満 近税政幹事長
 山本 眞市 近税政副幹事長



毎年恒例となっている、税理士による高市早苗後援会の新春の集いが開催された。

武野勝文会長の開会のあいさつに続き、田近税政幹事長が、税制改正大綱の内容に税政連の要望事項が多く実現したことを中心にあいさつした。山本近税政副幹事長からは、会費収納への一層のご協力をお願いする旨のあいさつがあった。

■高市早苗衆議院議員 国政報告

昨年秋の総選挙でのご支援に改めて感謝申しあげる。現在は、サイバーセキュリティ対策本部長を拝命し、日々の業務に邁進している。

医療機関や放送業界へのハッキングが世界各地で発生しているなかで、日本は法整備が遅れているので、早急に進めることが肝要と思っている。鉄道・航空・ガス・電力・金融等の13分野におよぶサイバーセキュリティ対策に関する党としての提言の取りまとめの他、自動車自動運転システムや電子納税等のセキュリティ対策、さらにGPSの電波妨害対策にも尽力している。

国政報告に続いて懇親会が行われ、盛会のうちを終了した。(奈良支部 景山良一)

奥野しんすけ後援会

日時 平成30年2月3日
 場所 割烹ふたがみ(大和高田市)
 来賓 奥野 信亮 衆議院議員
 久保 直己 近税政会長



奥野しんすけ後援会定期大会が開催された。辻井賢博後援会会長より今後は償却資産税の課税や提出期限の見直しを要求していきたい。また、奥野誠亮議員のときから年1回の定期総会のみが行われてきたが、今後は年に数回後援会活動を開催したいとの提案があった。

続いて、辻井会長が議長となり、1年間の事業報告を含む全議案が可決承認された。

●奥野信亮衆議院議員 あいさつ

中小企業施策に注力し「事業承継センター」を設け、たとえば後継者問題については、親族である子息のみに限らず外部からの人材を後継者にする場合においても認められる法律にするなどの事業承継の更なる充実努めていきたい。

安倍首相も中小企業のさらなる発展のため税理士には大きな期待をされている。

憲法改正については、現状に即した憲法論議をする事が未来の日本にとって必要であるが、国民の理解がなければ進まないものである。

そして大学無償化よりも、技術を磨くことが出来る社会の方が大事であると思う。わが国は、科学技術レベルが高い水準にある。他の追随を許さない圧倒的な差をもって世界標準を確立する事が日本の経済と産業の発展に不可欠である。(奈良支部 東 真由美)

むねきよ皇一後援会 国政報告会

日時 平成30年2月7日

場所 マテリ (東大阪市)

来賓 河田 秀雄 近税政副会長

藤本幸三幹事長の司会により開会し、広村孝司副会長のあいさつ、吉城鉄也会長のあいさつに続き、来賓の祝辞、国政報告会がおこなわれた。



●広村孝司副会長 あいさつ

昨年10月の選挙の際には大変お世話になり、お礼を申し上げます。

●吉城鉄也会長 あいさつ

今年はさらに会員を増やして、後援会を盛り上げていきたい。

●河田秀雄近税政副会長 あいさつ

平成30年度税制改正の目玉に資産課税の事業承継税制があります。消費税の軽減税率も来年には施行されるのではないかと。

●宗清皇一衆議院議員 国政報告

財政再建は大切であり、現在は財政再建と経済の再生を絶妙なバランスで行っている。税収も上がってきており日本経済はデフレでない状態にある。中小企業の経済を刺激していく税制改革としては、事業承継税制・生産性を上げる設備投資に対する減税・賃上げに関連する税制改革を行っている。また、中小企業支援としてIT補助金・ものづくり補助金などの制度がある。

その後、懇親会が開催され、和やかなうちに終了した。
(東大阪支部 梅原文晃)

北側一雄後援会 新春談話会

日時 平成30年2月9日

場所 ホテル・アゴーラ リージェンシー堺

来賓 北側 一雄 衆議院議員

田 達満 近税政幹事長

安藤 治彦 近税政堺支部長



●北側一雄衆議院議員 談話

今年度の税制改正は「デフレ脱却・経済再生」に向けて設備投資の促進による生産性向上で収益の確保をし、賃上げで個人消費の活性化を図り、経済の好循環につなげることを後押しするためのものである。

平成30年度の予算や税制改正において措置を講じたもののうち中小企業や小規模事業者向け支援制度として、生産性向上を支援する補助金制度などがある。また、税制改正としては、所得拡大税制の拡充、高い労働生産性の向上を目指す企業が導入する設備について3年間固定資産税の軽減が受けられる特例の創設などがある。

中小企業の事業承継については、現行の事業承継税制を拡充し、平成30年1月から10年間の贈与・相続の特例を設けた。これは、従来の事業承継税制に加えて猶予対象の株式の制限の撤廃、納税猶予割合の引上げ、雇用確保要件の弾力化、複数(最大3名)の後継者に対する贈与・相続への対象の拡大、経営環境の変化に対応した減免制度の創設など非常に拡充が図られた。ぜひ活用していただきたい。

(堺支部 大谷富太郎)

川柳・書道コンテストとともに

平成25年3月に税理士登録をして丸5年。思いおせば税理士証票伝達式で、多くの書類や冊子と一緒に、この機関紙「近畿税政連」の配付(第191号)も。その号の最終ページには、広報活動の一環として「第1回川柳・書道コンテスト開催」のお知らせがあった。小学2年の時から10年ほど書道(習字)を続けていたものの、学生時代以後ほとんど筆を持つことは無かったのがその時までずっと心残りだった。必ず応募するぞという気持ちになり、開業して間もないなか、6月の締切日に政治連盟の事務局まで書道作品を持っていったことを憶えている。

初回の応募で作品が入賞したときは嬉しく、これを機に5回目まで書道部門に毎年応募することに。税理士としての一年ごとの積み重ねとともに、コンテストに対する意識も変わっていった。一会員として政治連盟の活動に協力したい。機関紙の表紙には「税理士会の要望実現のために活動しています」というメッセージがあるのだが、その言葉がより生きる「近畿税政連」の題字を書きたいと思った。川柳でいう五七五音の言葉選びとは別の難しさがあるが、3回目のコンテストの時には真剣に考え作品を仕上げた。それが平成28年の表紙の題字になったのだが、表紙のデザインも含めて、自分がこれまで応募した作品の中では一番の出来で気に入っている。

現在は「焦点」の題字を載せていただいている。焦点の「点」という字を「黒(へん)」に「占(つくり)」という旧字で書いているために、一見違和感があるかもしれないが…。6回目のコンテストの締め切りまで、あとわずかである。一人でも多くの方が作品の応募をしてくださるよう、広報委員として会員皆様の作品をお待ちしています。

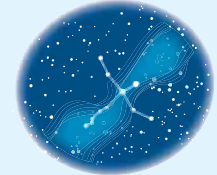
(伊丹支部 今田幸史)



近税政本部のうごき

- 第6回正副幹事長会(書面審議)(2月26日)
 - ・「税理士による吉田おさむ後援会」を支援後援会に再度認定することについて
- 第3回推薦審査会(書面審議)(3月7日)
 - ・京都府知事選挙における推薦候補者の決定について
- 第7回正副幹事長会(3月23日)
 - ・会費収納率の向上策について
 - ・後援会活動の活性化について
 - ・支部長、支部連会長、後援会会長連絡会議の開催について 他
- 第5回広報委員会(4月6日)
 - ・機関紙第229号(新年号)及び第230号(3月号)の批評
 - ・機関紙第231号(5月号)の編集に関する件
 - ・機関紙第232号(6月号)の編集企画に関する件 他
- 会費収納率向上PT(4月12日)
 - ・会費収納率の向上策について
 - ・後援会活動の活性化について
 - ・支部長・支部連会長・後援会会長連絡会議の開催について 他
- 財務・後援会対策合同委員会(4月12日)
 - ・会費収納率の向上策について
 - ・後援会活動の活性化について
 - ・支部長・支部連会長・後援会会長連絡会議の開催について 他

銀河系



5月号の編集会議は、毎年4月上旬に京都税理士会館でおこなっています。その後、夜桜の見える場所で懇親会が開かれます。京都の委員の方々がセッティングをしてくださっています。

会議では、前号の機関紙について批評をおこないます。厳しい意見や、良かったところなど、機関紙をより良いものにするために、委員は真剣です。続いて、次号の機関紙の校正と、その他の意見交換がなされ、編集会議と委員会は終了します。

その後は、場所を移して、京都での夜桜を見ながらの懇親会です。確定申告期を無事に終えた後のほっとした気持ちと、京料理に癒されます。

私も京都の町は大好きで、人々が夜桜を見ながら散策をしたり、賑やかに笑いしゃべったりして、ゆるやかに過ぎる時間をそれぞれが楽しんでいる雰囲気はいいな〜といつも思います。(西宮支部 森本幸子)

「焦点」題字:「第5回川柳・書道コンテスト」書道テーマ部門 最優秀会長賞(作=今田幸史 伊丹支部)
 「表紙」題字:「第5回川柳・書道コンテスト」書道テーマ部門 優秀賞(作=黒石健弘 北支部)



**組合員専用
ページで
研修会が視聴
できます**
(収録)
※近畿税理士会認定研修

※研修受講実績に含める場合は、視聴後に
ご自身 による近畿税理士会への申請が必要です。

<http://www.hanna-zeikyo.jp>

阪 奈 税 協

検索

組合員
専用ページの
ご案内

ホームページを活用ください



※専用ページの利用にはHPへの会員登録が必要です

**研修会申込
研修会視聴
レジュメダウンロード**

**書籍購入
(15%OFF)**
※一部出版社のみ取扱い
一律送料は各出版社で適用
(10冊以上または16,200円(税込)以上で送料無料)

**組合員価格での
家電・事務用品・
生活雑貨等の購入**

**希望書籍等の
無料配布申込
(受付期間中のみ)**

WEB書籍販売
組合員限定特価でご提供!!

家電製品が安い
組合員限定特価でご提供!!
Joshin

ステーショナリーショップ
世界の筆記具
ペンハウス

online shop
アットスカイ
@sky
泉州電業の
オンライン
ショップ

その他、組合組織や活動状況、広報誌の閲覧、関係団体及び提携企業の情報提供窓口、各種事業の案内など、さまざまなコンテンツがご利用いただけます。

お問い合わせ

TEL : 06-6941-6888 (阪奈税協事務局)

～阪奈蔵書コーナーに 約350冊を追加しました～

近畿税理士会館2F・5Fに
阪奈蔵書コーナーを設置しています。

(現在3,500冊以上の税務関係書籍を配架)



大阪・奈良税理士協同組合